

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
慢性活動性EBウイルス感染症の感染細胞特性と治療に関する研究	大賀正一	周産母子センター	260	補委 文部科学省科学研究費補助金基盤研究C
ヒト化モデルマウスを用いた次世代遺伝子治療法の開発:遺伝子修復による自己細胞再生	原 寿郎	周産母子センター	689	補委 文部科学省科学研究費補助金基盤研究B
基盤研究(C)好中球による酸化ストレスからみた妊娠高血圧症候群の病態形成過程	月森清巳	周産母子センター	180	補委 日本学術振興会
基盤研究(C)子宮内トポロジーからみた胎児由来芽能性細胞トロホブラストの血管内皮様分化調節機構	福嶋恒太郎	周産母子センター	190	補委 日本学術振興会
若手研究(B)胎児麻酔を用いた先天性横隔膜ヘルニアに対する治療戦略の確立	北條哲史	周産母子センター	100	補委 文部科学省
分娩拠点病院の創設と産科2次医療圏の設定による産科医師の集中化モデル事業	福嶋恒太郎	周産母子センター	400	補委 厚生労働省研究委託費
母体環境の変容が胎児中枢神経系機能発達に与える影響に関する検討	福嶋恒太郎	周産母子センター	200	補委 成育医療研究委託費
行動学を用いた水頭症胎児の娩出時期に関する研究	諸隈誠一	周産母子センター	80	補委 二分脊椎・水頭症研究振興財団研究助成金
21世紀ロボットチャレンジプログラム「リハビリ支援型ロボット及び実用化技術の開発」	岩本幸英	リハビリテーション部	3,102	補委 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
脳機能および身体機能の活性化における「ゲーム機リハビリ」の有用性	高杉紳一郎	リハビリテーション部	100	補委 文部科学省科学研究費(萌芽研究)
炎症性腸疾患患者の各種治療前後における表面マーカーおよびケモカイン発現の検討	矢田親一朗	光学医療診療部	120	補委
「未来型医療を実現する小型ロボティクスシステムの研究開発」	橋爪 誠	先端医工学診療部	65,000	補委 新エネルギー・産業技術総合開発機構・民間基盤技術研究促進事業(NEDO)
「ロボット医学教育研究の戦略的拠点の形成」	橋爪 誠	先端医工学診療部	6,000	補委 九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト Aタイプ
「術中MRI下腹腔鏡下手術システムの確立」	橋爪 誠	先端医工学診療部	6,325	補委 厚生労働省科学研究費補助金
「超低侵襲消化器癌治療を実現する内視鏡ロボットシステムの開発」	橋爪 誠	先端医工学診療部	3,640	補委 文部科学省科学研究費 基盤研究A
「多次元医用画像誘導による内視鏡下手術支援システムの開発」	掛地吉弘	先端医工学診療部	1,480	補委 文部科学省科学研究費 基盤研究B

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
「世界戦略的ロボット手術研究教育拠点作成のための教育モデルの確立」	川中博文	先端医工学診療部	1,480	補委 文部科学省科学研究費 基盤研究B
乳歯の再生医療への応用を開拓する発生および細胞工学的研究	野中和明	小児歯科	80	補委 文部科学省科学研究費
糖鎖シグナル機能解析による口唇裂口蓋裂ポストゲノム研究	野中和明	小児歯科	600	補委 文部科学省科学研究費
細胞外マトリックスによるエナメル質形成メカニズムの解明	福本 敏	小児歯科	890	補委 文部科学省科学研究費
エナメルマトリックスによる歯根吸収抑制メカニズムの解明とその制御	福本 敏	小児歯科	70	補委 文部科学省科学研究費
マルチボディシステムを用いた食品の「機能物性」	早崎治明	小児歯科	110	補委 文部科学省科学研究費
インシュリン感受性ホルモンの低下が糖尿病患者の歯周病に及ぼす影響に関する研究	山口 登	小児歯科	120	補委 文部科学省科学研究費
乳歯歯根吸収に関与する遺伝子の探索およびその制御機構の分子生物学的解析	長谷川智一	小児歯科	220	補委 文部科学省科学研究費
基底膜分子を用いたエナメル芽細胞分子化誘導法の開発	湯浅健司	小児歯科	120	補委 文部科学省科学研究費
規定膜分子ラミニンの歯の形態形成における役割の解析と組織工学的再生法の開発	湯浅真理	小児歯科	100	補委 文部科学省科学研究費
遠隔診断支援のための顎顔面の形態と機能の三次元可視化システムの構築	中島昭彦	矯正歯科	220	補委 文科省科学研究費
実験的歯の移動および末梢血流の動態に及ぼす静磁場の影響について	名方俊介	矯正歯科	50	補委 磁気健康科学研究振興財団助成金
矯正的歯の移動時の歯根吸収に対する全身的炎症疾患の影響	五百井秀樹	矯正歯科	280	補委 文科省科学研究費
MRI を用いた顎顔面形態と口腔機能の四次元解析システムの開発	寺嶋雅彦	矯正歯科	240	補委 文科省科学研究費
歯根膜再生の鍵を握る細胞とその必須の因子は何か？	赤峰昭文	歯内治療科	978	補委 文部科学省科学研究費
歯髄・根尖部歯周組織の創傷治癒メカニズムの解明と再生	吉嶺嘉人	歯内治療科	1,483	補委 文部科学省科学研究費
ヒトマラッセ上皮遺残細胞による発現遺伝子の網羅的解析と不死化細胞の樹立	前田英史	歯内治療科	130	補委 文部科学省科学研究費

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
湿潤環境下におけるセラミックス-レジンセメント間の接着耐久性	畦森雅子	歯内治療科	120	補委	文部科学省科学研究費
マラッセの遺残上皮の増殖機序と役割に関する研究	橋口 勇	歯内治療科	70	補委	文部科学省科学研究費
幹細胞を利用した新歯内治療法の確立	石河真幸	歯内治療科	130	補委	文部科学省科学研究費
熱媒体の人体影響とその治療等に関する研究	赤峰昭文	歯内治療科	100	補委	厚生労働省科学研究費
根尖性歯周炎により破壊された歯周組織の治癒のメカニズムの解明と再生医療への応用	阿南 壽	歯周病科	1,378	補委	文部科学省科学研究費
ドラッグデリバリーシステムを用いた新規骨再生法の開発とその細胞内メカニズムの解明	古谷野 潔	義歯補綴科	610	補委	文部科学省科学研究費
アジアおよび米国の補綴学会との共同国際研究集会に向けた企画調査	古谷野 潔	義歯補綴科	330	補委	文部科学省科学研究費
破骨細胞からみた多血小板血漿(PRP)の効果-歯槽骨吸収抑制の可能性	古谷野 潔	義歯補綴科	80	補委	文部科学省科学研究費
咬合の異常感覚症患者の客観的診断法の開発に関する研究	築山能大	義歯補綴科	150	補委	文部科学省科学研究費
紅麹エキスをを用いた新規骨形成法に関する研究	鮎川保則	義歯補綴科	170	補委	文部科学省科学研究費
インプラント周囲に発現する骨タンパクはオッセオインテグレーションを促進できるか?	藤野陽子	義歯補綴科	210	補委	文部科学省科学研究費
Functional MRIを用いた摂食機能の高次脳活動賦活化に関する研究	松山美和	義歯補綴科	70	補委	文部科学省科学研究費
ティッシュエンジニアリングを応用した審美的・機能的インプラント周囲組織の構築	熱田 生	義歯補綴科	160	補委	文部科学省科学研究費
インプラントおよび自家移植歯牙周囲の知覚再生と咬合負担による変化に関する研究	保志美砂子	義歯補綴科	180	補委	文部科学省科学研究費
ティッシュエンジニアリングの三要素を配慮した骨再生とその評価	荻野洋一郎	義歯補綴科	210	補委	文部科学省科学研究費
RNA干渉を用いた顎口腔領域の骨増生に関する基礎的研究	和田裕子	義歯補綴科	190	補委	文部科学省科学研究費
エナメル質の再生とその臨床応用	寺田善博	咬合補綴科	300	補委	文部科学省科学研究費

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
抗腫瘍T細胞の活性化あるいは不活性化に関わる扁平上皮癌関連抗原の解析	中村誠司	顎口腔外科	310	補委 文部科学省科学研究費
エリス・ファン・クレフェルト症候群の原因遺伝子の解明	菊田るみこ	顎口腔外科	170	補委 文部科学省科学研究費
口腔扁平苔癬の発症および病態形成の分子機構におけるT細胞マイクロキメリズの関与	林田淳之將	顎口腔外科	110	補委 文部科学省科学研究費
コシヤペロンDnaj/HSP40による浸潤・転移機構の解明	森藤政代	顎口腔外科	140	補委 文部科学省科学研究費
Notchシグナル伝達系を介したエナメル上皮腫の分化制御機構の解明	川野真太郎	顎口腔外科	90	補委 文部科学省科学研究費
がん浸潤・転移分子を標的とした口腔癌転移抑制療法の開発	白砂兼光	顔面口腔外科	350	補委 補 文部科学省科学研究費委
おとり遺伝子を用いた純国産戦略による多剤耐性癌への抗癌剤治療法の応用	竹之下康治	顔面口腔外科	640	補委 補 文部科学省科学研究費委
おとり遺伝子を用いた純国産戦略による癌の血管新生抑制療法の開発	石橋浩晃	顔面口腔外科	480	補委 補 文部科学省科学研究費委
閉塞性耳下腺炎治療のための導管拡張用精密器具の開発に関する実験的研究	河津俊幸	口腔画像診断科	140	補委 日本学術振興会科学研究費
マラッセの上皮遺残はセメント質形成に関与しているか？	和田尚久	口腔総合診療科	220	補委 文部科学省科学研究費
粘性体や弾性体を用いた歯牙欠損補綴患者および顎関節症患者の硬さ識別能の評価	玉丸寛美	口腔総合診療科	250	補委 文部科学省科学研究費

計 262 件

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Blood108:382-389,2006	Myeloablative allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for non-Hodgkin lymphoma: a nationwide survey in Japan.	Kim SW,Harada M,etal	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科
Gastroenterology 131: 606-618,2006	Autoreactive T-cell responses in primary biliary cirrhosis are proinflammatory whereas those of controls are regulatory.	Shimoda S,Harada M,etal	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科
Hepatology 43:729-737,2006	Liver-targeted and peripheral blood alterations of regulatory T cells in primary biliary cirrhosis.	Lan RY,Harada M,etal	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科
Transplantation82:840-843,2006	Adult T-cell leukemia development from a human T-cell leukemia virus type I carrier after a living-donor liver transplantation.	Kawano N,Harada M,etal	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科
J Cell Biochem97:724-734,2006	Gefitinib, a selective EGFR tyrosine kinase inhibitor, induces apoptosis through activation of Bax in human gallbladder adenocarcinoma cells.	Ariyama H,Harada M,etal	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科
Lancet 368:1155-1163,2006	Primary prevention of cardiovascular disease with pravastatin in Japan (MEGA Study): a prospective randomized controlled trial.	Nakamura H,Harada M,etal	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科
Int J Mol Med17:875-879,2006	Increased expression of membrane TNF-alpha on activated peripheral CD8+ T cells in systemic lupus erythematosus.	Horiuchi T,Harada M,etal	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科
Kidney Int 70: 363-70, 2006	Persistent hyperparathyroidism in renal allograft recipients: Vitamin D receptor, calcium-sensing receptor and p21.	Masatomo Taniguchi	腎・高血圧・脳血管内科
腎臓29:118-125, 2006	過形成副甲状腺の退縮に関する検討	谷口正智	腎・高血圧・脳血管内科
Life Sci 79:757-763, 2006	Expression of synaptopodin and GLEPP1 as markers of steroid responsiveness in primary focal segmental glomerulosclerosis.	MakotoHirakawa	腎・高血圧・脳血管内科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Ther Apher Dial 11:49-55, 2007	Midodrine hydrochloride and L-threo-3,4-dihydroxy-phenylserine preserve cerebral blood flow in hemodialysis patients with orthostatic hypotension.	KiichiroFujisaki	腎・高血圧・脳血管内科
Clin Nephrol 67: 53-57, 2007	Acute renal infarction in a patient with left atrial myxoma.	KiichiroFujisaki	腎・高血圧・脳血管内科
Clin Nephrol 66: 214-217, 2006	Candida glabrata fungemia in a diabetic patient with neurogenic bladder: successful treatment with micafungin.	NaokiHaruyama	腎・高血圧・脳血管内科
Journal of Gastroenterology and Hepatology	Therapeutic effect of infliximab on colorectal adenoma in uncolectomized familial adenomatous polyposis	Takayuki Matsumoto	消化管内科
Endoscopy	Probe EUS for the diagnosis of invasion depth in superficial esophageal cancer. A comparison between jelly-filled method and water-filled balloon method	Motohiro Esaki	消化管内科
Digestive Diseases and Sciences	Enteroscopic features of chronic nonspecific multiple ulcers of the small intestine. Comparison with NSAID-enteropathy	Takayuki Matsumoto	消化管内科
Diseases of the Colon and Rectum	Impact of phospholipase A2 group IIa gene polymorphism on phenotypic features of patients with familial adenomatous polyposis	Ritsuko Fujisawa	消化管内科
Inflammatory Bowel Disease	Auto-fluorescence colonoscopy for the diagnosis of dysplasia in ulcerative colitis	Takayuki Matsumoto	消化管内科
Mol Cell Biol. 26: 6633-6655	Nuclear compartmentalization of N-CoR and its interactions with steroid receptors.	Wu Y et al.	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
Biochem Biophys Res Commun. 341: 515-521	Opposite effects of alternative TZF spliced variants on androgen receptor	Tao RH et al.	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Am. J. Hypertension (2006, 19: 1206-1212)	Evaluation of a new carotid intimal plus medial thickness (IMT) measurement by b-mode ultrasonography using an innovative measurement software, intimascope	Yanase T et al.	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
Eur J Haematol.	Pivotal role of Notch signaling in regulation of erythroid maturation and proliferation.	Tachikawa Y et al.	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
Liver Int 26: 385-387, 2006	RCAS1-expressing macrophages in inflammatory liver diseases	Enjoji M, et al	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
Comp Hepatol 5: 10, 2006	Comparison of tissue pressure and ablation time between the LeVeen and cool-tip needle methods	Nakamuta M, et al	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
World J Gastroenterol 12: 6678-6682, 2006	Arterial steroid injection therapy can inhibit the progression of severe acute hepatic failure toward fulminant liver failure	Kotoh K, et al	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
Int Med 45: 1133-1135, 2006	An adult case with Hunter's syndrome presenting prominent hepatic failure: light and electron microscopic features of the liver	Yoshimoto T, et al	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
臨床病理 54: 126-131, 2006	尿中ジアセチルスペルミン上昇に関する要因: 良性肝疾患患者における考察 臨床病理 54: 126-131, 2006	遠城寺宗近 他	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
医学のあゆみ別冊 NAFLDのすべて, 西原利治編 p59-64, 医歯薬出版	NAFLDにおける脂肪酸代謝医学のあゆみ別冊 NAFLDのすべて, 西原利治編 p59-64, 医歯薬出版	中牟田誠, 国府島庸之	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科
Neurology 67: 1236-1241, 2006	The contactin 4 gene locus at 3p26 is a candidate gene of SCA16.	Miura S, et al	神経内科
NeuroImage 31: 745-753, 2006	Functional network of the basal ganglia and cerebellar motor loops in vivo: different activation patterns between self-initiated and externally triggered movements.	Taniwaki T, et al	神経内科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
J Neuropathol Exp Neurol 65: 816-825, 2006	Intrathecal upregulation of G-CSF and its neuroprotective actions on motor neurons in amyotrophic lateral sclerosis.	Tanaka M, et al	神経内科
J Neurol Neurosurg Psychiatry 77: 1187-1190, 2006	Expression of granulysin in infiltrating cells in polymyositis and inclusion body myositis: its possible relationship to steroid resistance in polymyositis.	Ikezoe K, et al	神経内科
J Neuroimmunol 175: 52-58, 2006	CSF cytokine and chemokine profiles in acute disseminated encephalomyelitis.	Ishizu T, et al	神経内科
J Neuroimmunol 178: 156-160, 2006	Upregulation of myeloperoxidase in patients with opticospinal multiple sclerosis: positive correlation with disease severity.	Minohara M, et al	神経内科
Cardiovasc Res. 2007 Mar;73(4):794-805.	Soluble TNF receptors prevent apoptosis in infiltrating cells and promote ventricular rupture and remodeling after myocardial infarction.	Monden Y, Kubota T, Egashira K, Sunagawa K et al	循環器内科
J Hypertens. 2007 Feb;25(2):399-406.	Pressor response induced by central angiotensin II is mediated by activation of Rho/Rho-kinase pathway via AT1 receptors.	Sagara Y, Hirooka Y, Sunagawa K et al	循環器内科
Clin Exp Hypertens. 2007 Jan;29(1):13-21.	Long-acting calcium channel blocker, azelnidipine, increases endothelial nitric oxide synthase in the brain and inhibits sympathetic nerve activity.	Kimura Y, Hirooka Y, Sunagawa K et al	循環器内科
J Cardiovasc Pharmacol. 2006 Sep;48(3):95-102	Angiotensin II type 1 receptor blocker attenuates exacerbated left ventricular remodeling and failure in diabetes-associated myocardial infarction.	Matsusaka H, Ide T, Sunagawa K et al	循環器内科
Circ Res. 2006 Sep 9;99(7):767-75.	Sustained elevation of serum cortisol level causes sensitization of coronary vasoconstricting responses in pigs in vivo: a possible link between stress and coronary vasospasm.	Hizume T, Sunagawa K et al	循環器内科
Hypertension. 2006 Oct;48(4):651-7.	Ovariectomy augments hypertension through rho-kinase activation in the brain stem in female spontaneously hypertensive rats.	Ito K, Hirooka Y, Kimura Y, Sagara Y, Sunagawa K.	循環器内科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Cardiovasc Res. 2006 Oct 1;72(1):184-90.	Telmisartan downregulates angiotensin II type I receptor through activation of peroxisome proliferator-activated receptor gamma.	Imayama I, Ichiki T, Sunagawa K et al	循環器内科
Am J Physiol Heart Circ Physiol. 2006 Nov;291(5):H2237-45.	Overexpression of glutathione peroxidase attenuates myocardial remodeling and preserves diastolic function in diabetic heart.	Matsushima S, Ide T, Sunagawa K et al	循環器内科
Arterioscler Thromb Vasc Biol. 2006 Sep;26(9):2049-55.	Thyroid hormone inhibits vascular remodeling through suppression of cAMP response element binding protein activity.	Fukuyama K, Ichiki T, Sunagawa K et al	循環器内科
Hypertens Res. 2006 Jan;29(1):49-56.	Amlodipine-induced reduction of oxidative stress in the brain is associated with sympatho-inhibitory effects in stroke-prone spontaneously hypertensive rats.	Hirooka Y, Kimura Y, Nozoe M, Sagara Y, Ito K, Sunagawa K.	循環器内科
Am J Physiol Heart Circ Physiol. 2006 Sep;291(3):H1337-44.	Blockade of NF-kappaB improves cardiac function and survival after myocardial infarction.	Kawano S, Kubota T, Sunagawa K et al	循環器内科
Circulation. 2006 Apr ;113(14):1779-86.	Overexpression of mitochondrial peroxiredoxin-3 prevents left ventricular remodeling and failure after myocardial infarction in mice.	Matsushima S, Ide T, Sunagawa K et al	循環器内科
Cardiovasc Res. 2006 Jun 1;70(3):457-65.	Targeted deletion of p53 prevents cardiac rupture after myocardial infarction in mice.	Matsusaka H, Ide T, Sunagawa K et al	循環器内科
Hypertension. 2006 Apr;47(4):711-7.	Targeted deletion of matrix metalloproteinase 2 ameliorates myocardial remodeling in mice with chronic pressure overload.	Matsusaka H, Ide T, Sunagawa K et al	循環器内科
Kindly International 2006 Jun;69(11): 1986-1995.	Blockade of VEGF accelerates proteinuria, via decrease in nephrin expression in rat crescentic glomerulonephritis.	Hara A, Wada T, Egashira K et al	循環器内科
Respiration. 2007 Mar 29	Different Profiles of IL-10+IFN-gamma-IL-4-CD4+ T Cells in the Peripheral Blood in Atopic and Non-Atopic Asthmatics.	松元幸一郎	呼吸器科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Med Sci Monit. 2007 Feb;13(2):RA19-24	The pathogenesis of COPD: lessons learned from in vivo animal models.	藤田昌樹	呼吸器科
Pulm Pharmacol Ther. 2006 Sep 14	Doxycycline attenuated lung injury by its biological effect apart from its antimicrobial function.	藤田昌樹	呼吸器科
Cancer Gene Ther. 2007 Jan;14(1):105-16	Vascular endothelial growth factor promoter-based conditionally replicative adenoviruses for pan-carcinoma application.	高山浩一	呼吸器科
Respiration. 2006 Sep 5	Effects of Salmeterol in Patients with Persistent Asthma Receiving Inhaled Corticosteroid plus Theophylline.	井上博雅	呼吸器科
Gynecologic Oncology	Clinical significance of RCAS1 as a biomarker of uterine cancer	Sonoda, K.	産科婦人科
Clin Cancer Res	Adenovirus-Mediated Calponin h1 Gene Therapy Directed against Peritoneal Disseminataion of Ovarian Cancer : Bifunctional Therapeutic Effects on Peritoneal Cell Layer and Cancer Cells	Ogura, T.	産科婦人科
The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research	Complete mole coexistent with a twin fetus	Ogura, T.	産科婦人科
J Pediatr. 2006 148:546-8	Delayed separation of the umbilical cord in two siblings with Interleukin-1 receptor-associated kinase 4 deficiency: rapid screening by flow cytometer.	Takada H, Hara T	小児科
Clin Exp Immunol. 2006;143(2):260-8	Novel roles of osteopontin and CXC chemokine ligand 7 in the defence against mycobacterial infection.	Khajooe V, Saito M, Hara T	小児科
Diabet Med. 23(10):1145-50, 2006	Phenotypic and genetic analyses of T-cell-mediated immunoregulation in patients with Type 1 diabetes.	Tsutsumi Y, Ihara K, Hara T	小児科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
J Pediatr Hematol Oncol. 28:355-361, 2006	Reduced gene expression of clustered ribosomal proteins in Diamond-Blackfan anemia patients without RPS19 gene mutations.	Koga Y, Matsuzaki A, Hara T	小児科
Pediatr Hematol Oncol, 23: 115-127, 2006	Identification of novel genes with prognostic value in childhood leukemia using cDNA microarray and quantitative RT-PCR.	Hattori H, Suminoe A, Hara T	小児科
Int J Immunogenet2007 Feb;34(1):35-44	Association of IL12RB1 polymorphisms with susceptibility to and severity of tuberculosis in Japanese:a gene-based association analysis of 21 candidate genes.	Kusuhara K, Hara T	小児科
J Biotechnol 121:299-308, 2006	A novel transfection method for mammalian cells using gas plasma.	Sakai Y, Kira R, Hara T	小児科
GUT55(7):991-999	Gli1, downregulated in colorectal cancers, inhibits proliferation of colon cancer cells involving Wnt signalling activation.	Akiyoshi T	第一外科
Cancer Genomics & Proteomics3:47-54	Rapid and Sensitive Assay of K-ras Mutations in Pancreatic Cancer by Electrochemical Detection with Ferrocenyl-naphthalene-diimide	Ishikawa N	第一外科
J Hepatobiliary Pancreat Surg. 13(4):336-343	Type of gastrointestinal reconstruction affects postoperative recovery after pancreatic head resection	Kawamoto M	第一外科
Cancer Res. 66(14):7041- 7049	Nuclear factor- κ B contributes to hedgehog signaling pathway activation through sonic hedgehog induction in pancreatic cancer.	Nakashima H	第一外科
CancerGene Ther.13:520- 529	Peritumoral injection of adenovirus vector expressing NK4 combined with gemcitabine treatment suppresses growth and metastasis of human pancreatic cancer cells implanted orthotopically in nude mice and prolongs survival	Ogura Y	第一外科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者名	所属部門
Journal of Pathology 210:42-48	Sonic hedgehog is an early developmental marker of intraductal papillary mucinous neoplasms: clinical implications of mRNA levels in pancreatic juice	Ohuchida K	第一外科
Clin Cancer Res 12(18):5417-5422	S100A11, a putative tumor suppressor gene, is overexpressed in pancreatic carcinogenesis	Ohuchida K	第一外科
Int J Cancer. 118(2):405-411	Quantitative analysis of MUC1 and MUC5AC mRNA in pancreatic juice for preoperative diagnosis of pancreatic cancer	Ohuchida K	第一外科
Clin Cancer Res 12(7):2066-2069	Quantitative Analysis of Human Telomerase Reverse Transcriptase in Pancreatic Cancer	Ohuchida K	第一外科
Gastroenterology 130(2):548-565	Differential and epigenetic gene expression profiling identifies frequent disruption of the RELN pathway in pancreatic cancers	Sato N	第一外科
Cancer 107(2):251-257	Aberrant methylation of Reprimo correlates with genetic instability and predicts poor prognosis in pancreatic ductal adenocarcinoma	Sato N	第一外科
J Hepatobiliary Pancreat Surg 13(4):280-285	Epigenetic alterations in intraductal papillary mucinous neoplasms of the pancreas	Sato N	第一外科
J Hepatobiliary Pancreat Surg 13(4):286-295	The role of epigenetic alterations in pancreatic cancer	Sato N	第一外科
Endoscopy, 38:886-890, 2006.	Development and assessment of morphologic criteria for diagnosing gastric cancer using confocal endomicroscopy ex and in vivo study.	Takeji Y, et al.	第二外科
Ann Thorac Surg, 81:1189-1193, 2006.	Smoking status as a prognostic factor in patients with stage I pulmonary adenocarcinoma	Yoshino I., et al.	第二外科